

藤田観光株式会社

2024年12月期  
第1四半期

決算説明資料

2024年5月9日  
(証券コード:9722)



# 連結 損益計算書

- ・インバウンド需要が大幅に回復
  - ・国内市場においてもコロナ影響により行動制限下であった前年1Qと比べ観光需要が拡大
- ➡海外向けセールスの強化や商品力の向上等によりこれらの需要を捉え、  
前年比**38.2**億円増収、**20.0**億円増益

単位:百万円	2024年 1Q実績	2023年 1Q実績	前年比
売上高	16,985	13,163	+3,821
営業利益	2,056	53	+2,002
経常利益	2,177	54	+2,122
特別利益	131	627	▲496
特別損失	367	19	+348
税金等費用	271	9	+261
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,669	653	+1,016

# 売上高・営業利益 事業別内訳

- ・WHG事業を中心にADR(客室平均単価)が上昇
- ・高付加価値商品の拡販、インバウンド需要の獲得により全事業部で前年比増収

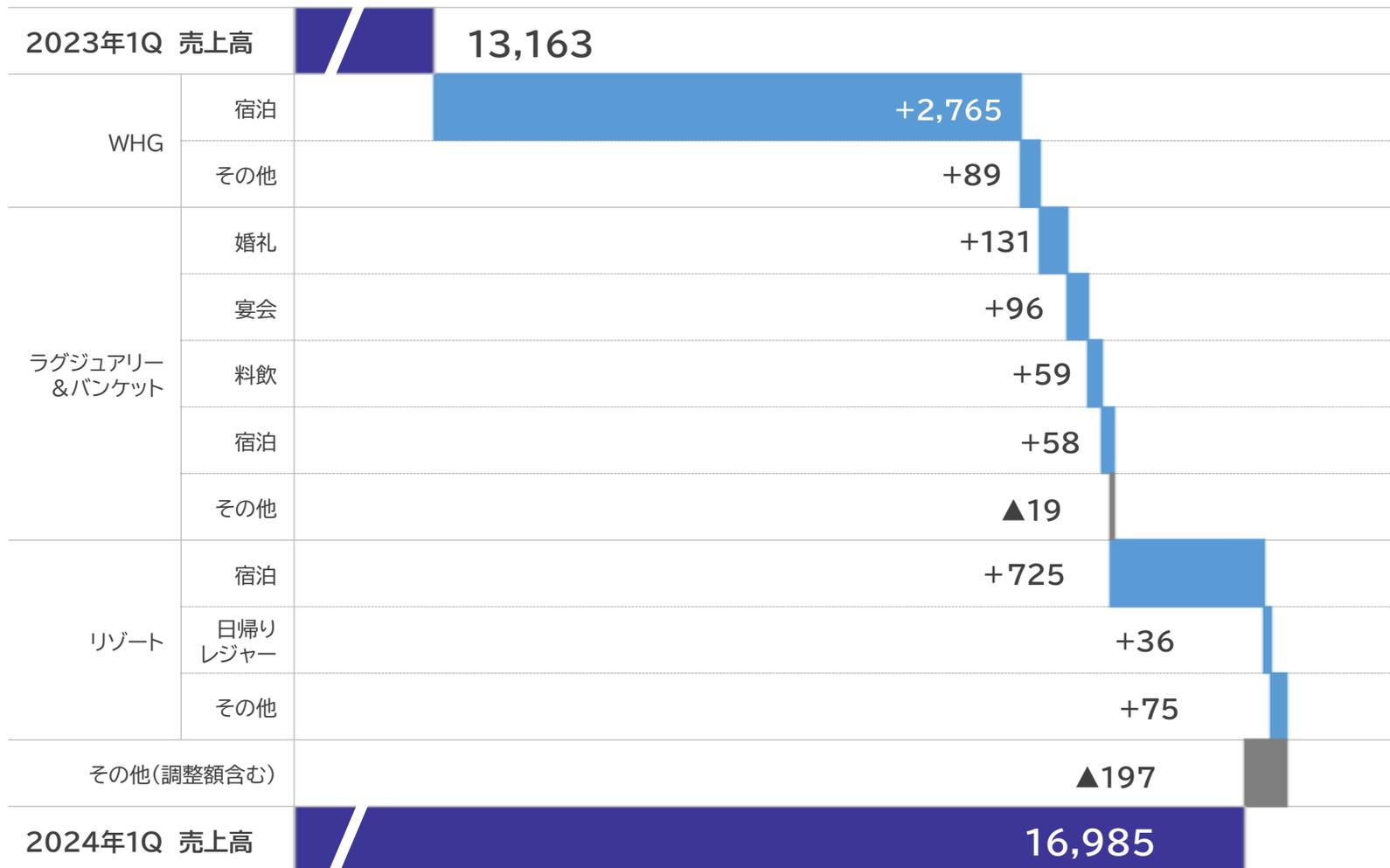
単位:百万円		2024年 1Q実績	2023年 1Q実績	前年比
売上高		16,985	13,163	+3,821
	WHG事業	10,229	7,373	+2,855
	ラグジュアリー&バンケット事業	4,045	3,718	+327
	リゾート事業	2,416	1,579	+837
	その他(調整額含む)	293	491	▲197
営業損益		2,056	53	+2,002
	WHG事業	1,901	286	+1,615
	ラグジュアリー&バンケット事業	48	▲36	+84
	リゾート事業	105	▲69	+175
	その他(調整額含む)	0	▲126	+127

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績

# 売上高 一部門別増減

- ・ADRが上昇したWHG事業が牽引
- ・ラグジュアリー&バンケット事業では婚礼・宴会・料飲部門でも利用人員増加

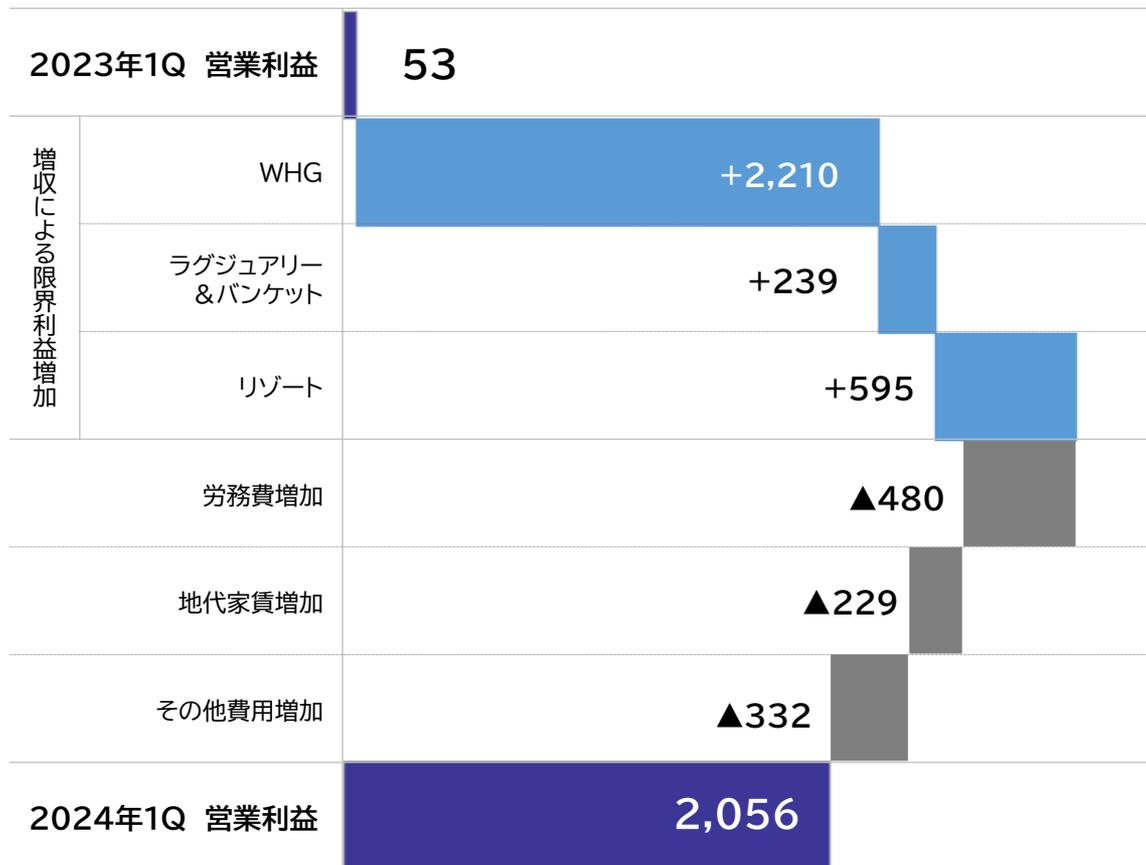
単位:百万円



# 営業利益 一要因別増減

- ・労務費(新規採用、賃金引上げなど)、地代家賃の増加影響はあるものの、各事業の限界利益の増加が大きく上回る

単位:百万円



## 営業固定費比率(対売上高)

✓ コロナ前と比較し低減

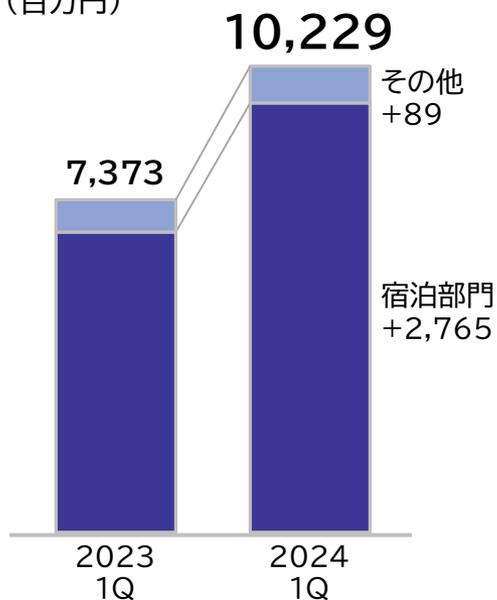
2019年	1Q	79.0%
		▼
2023年	1Q	77.2%
		▼
2024年	1Q	64.9%

- ・海外向けセールス強化や地方事業所へのインバウンド送客施策を継続実施  
インバウンド宿泊者数が増加（WHG全体で前年比+54.3%、インバウンド比率+11.9%pt）
- ・国内外ともに観光需要の取り込みを強化、1室あたりの平均宿泊人数が増加  
→「新宿ワシントンホテル」「ホテルグレイスリー新宿」など東京都内施設を中心にADRが大きく上昇  
→事業全体で前年比**28.5億円増収、16.1億円増益**

※2023年2月末まで「ホテルグレイスリー新宿」は行政へ提供（一棟貸し）

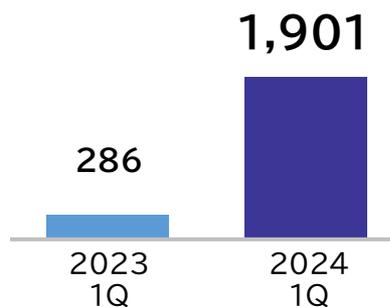
## 売上高

(百万円)

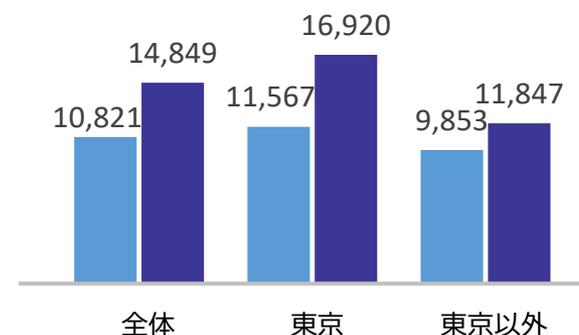


## 営業利益

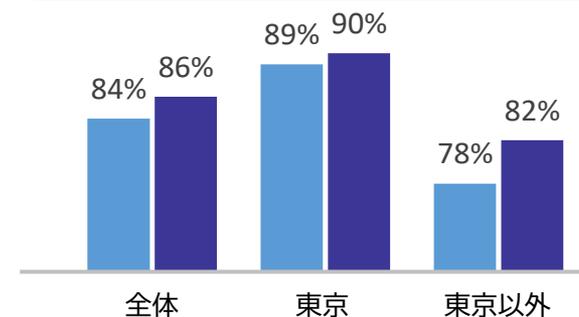
(百万円)



## ADR(円)



## 稼働率



✓ 宿泊部門+2,765百万円のうちADR上昇効果は+2,508百万円

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績

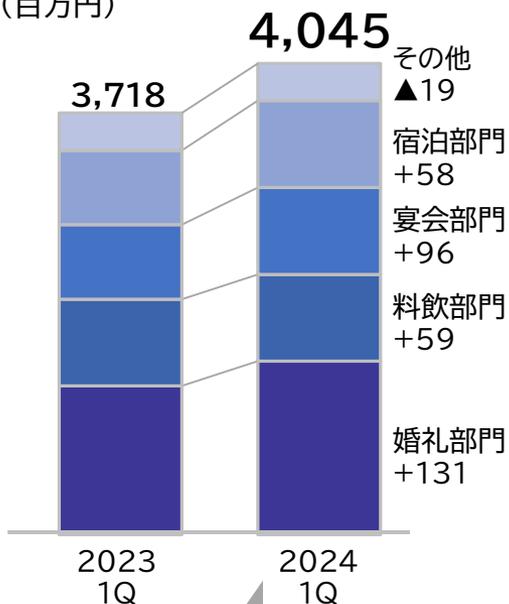
※ 営業指標はサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

・「ホテル椿山荘東京」において高付加価値商品の販売施策を継続、各部門において利用単価上昇  
 利用人員も増加し、全部門で前年比増収

➡事業全体で前年比**3.2億円増収**、**0.8億円増益**

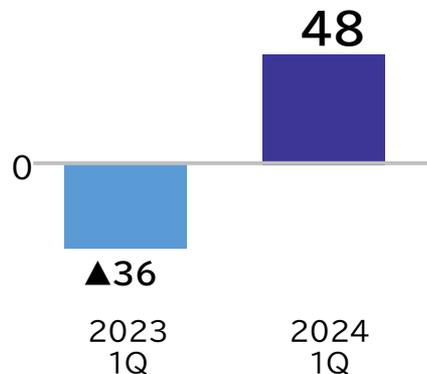
## 売上高

(百万円)



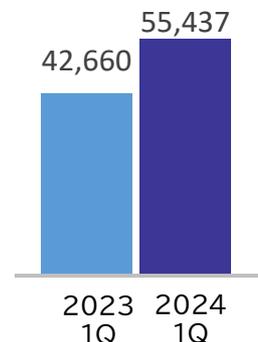
## 営業利益

(百万円)

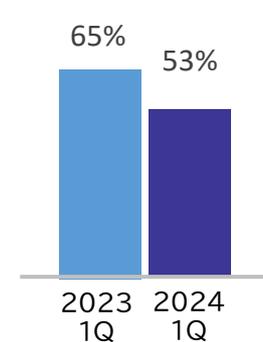


## ホテル椿山荘東京

### ADR(円)



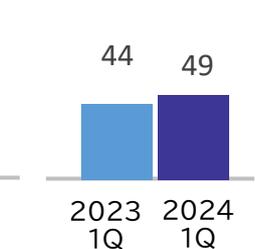
### 稼働率



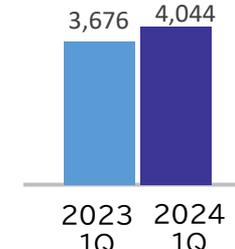
### 婚礼 施行件数(件)



### 婚礼 件当たり平均人数(人)



### 婚礼 件当たり単価(千円)



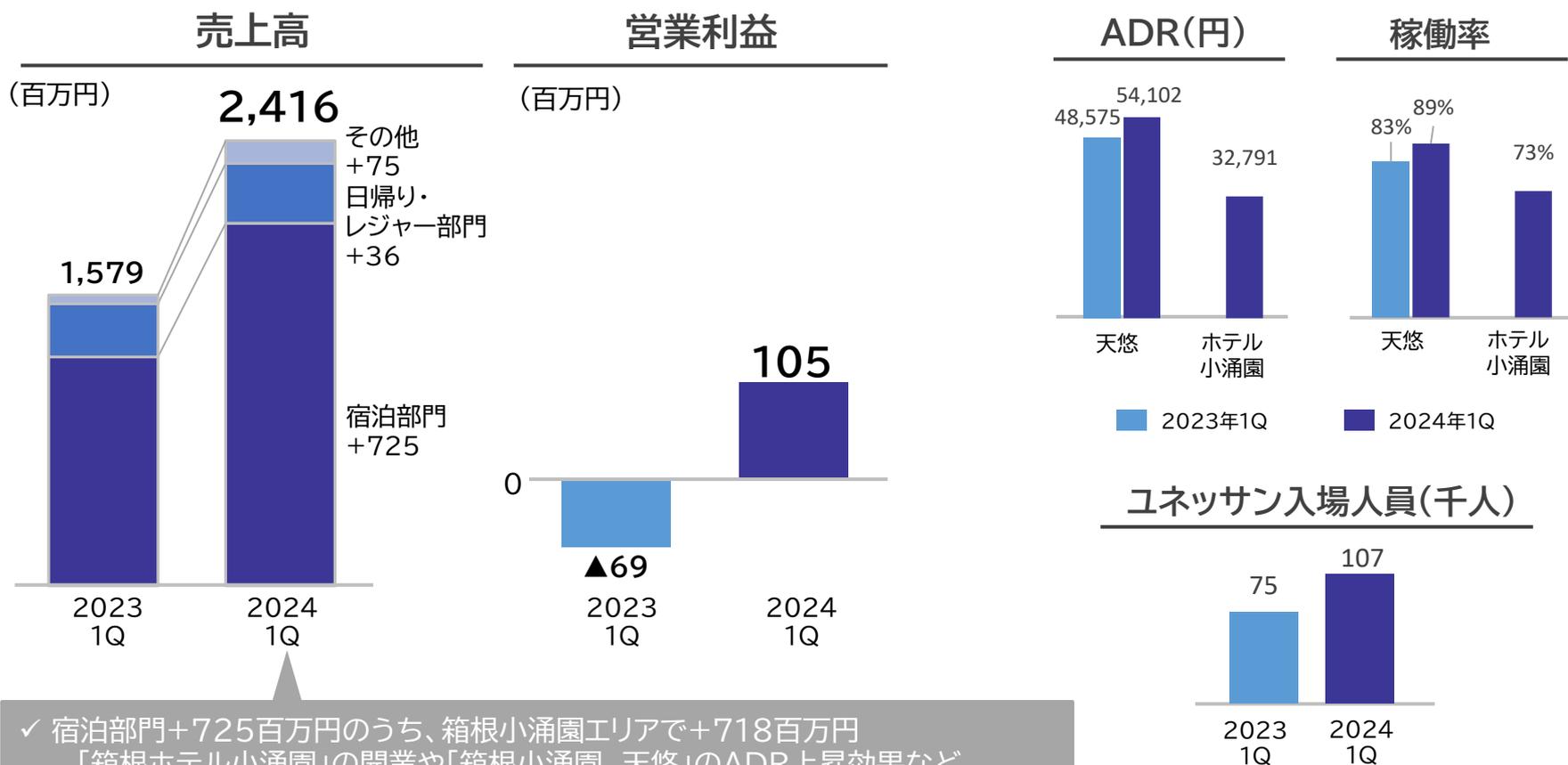
### 「ホテル椿山荘東京」

- ✓ 婚礼部門+131百万円  
 施行件数、件当たり平均人数、件当たり単価すべて前年比プラス
- ✓ 料飲部門・宴会部門  
 利用人員が前年比で増加、料飲部門+2.7%、宴会部門+14.4%
- ✓ 宿泊部門+58百万円  
 ADR上昇効果は+162百万円、稼働率は前年比マイナスとなるも、RevPAR(稼働率×ADR)が上昇

※婚礼施行件数、件当たり人数・単価は  
 挙式のための施行件数を含まず算出

- ・「箱根小涌園 天悠」では食事ランクアップなどの高付加価値商品の販売が好調、ADR上昇  
また、インバウンド集客などにより平日利用が増加し、稼働率上昇
  - ・2023年7月に開業した「箱根ホテル小涌園」のADR・稼働率も前年に引き続き順調に推移
- ➔事業全体で前年比**8.3億円増収**、**1.7億円増益**

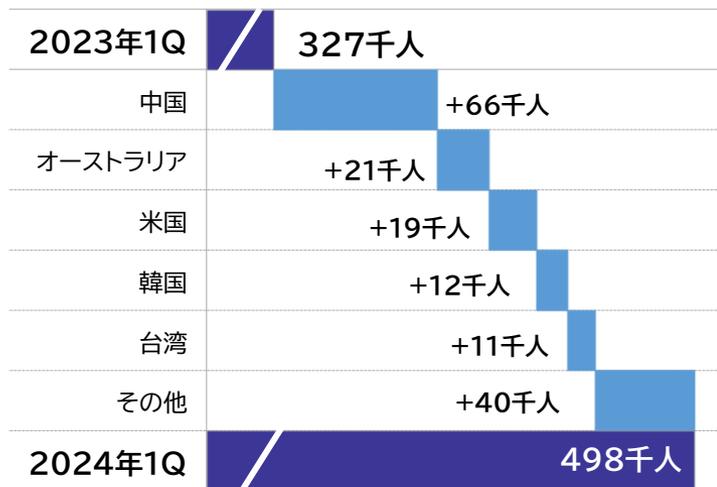
※箱根ホテル小涌園：2023年7月開業



# インバウンドの状況

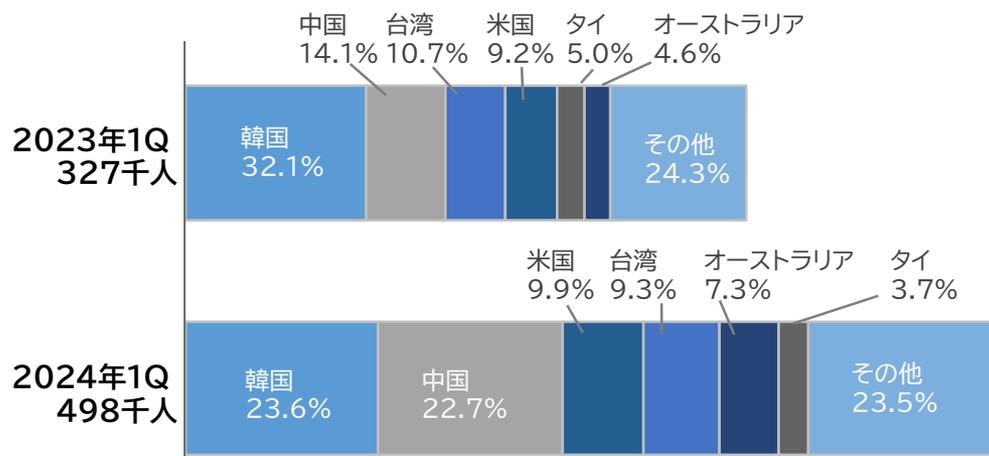
	2024年1Q実績	前年比
インバウンド宿泊者数(国内事業所のみ)	498千人	+52.3%
総宿泊者数	1,015千人	+19.5%
インバウンド比率	49.1%	+10.5%pt
WHG全体	51.4%	+11.9%pt
ホテル椿山荘東京	29.1%	+2.7%pt
箱根小涌園 天悠	41.3%	+1.6%pt
箱根ホテル小涌園	9.6%	—

## インバウンド宿泊者数 国別増減



※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む

## インバウンド宿泊者数 国別シェア



※2023年1Qは327千人を、2024年1Qは498千人を100%とした場合

# 貸借対照表

・純資産は前期末比15.2億円増加の274.9億円

A種優先株式に係る配当金の支払いで資本剰余金4.0億円減少した一方、利益剰余金が16.6億円増加

単位:百万円		2024年 3月末	2023年 12月末	増減
	流動資産	24,310	21,293	+3,016
	固定資産	72,007	72,202	▲195
	資産合計	96,317	93,496	+2,821
	流動負債	28,469	30,365	▲1,895
	固定負債	40,352	37,156	+3,196
	負債合計	68,821	67,521	+1,300
	純資産合計	27,495	25,974	+1,521
	負債純資産合計	96,317	93,496	+2,821
	自己資本比率	28.5%	27.8%	+0.8%pt
	借入金合計	42,156	40,021	+2,135

# 2024年12月期 業績予想

第1四半期決算、足元の状況を踏まえ、第2四半期累計および通期業績予想を上方修正

単位:百万円	第2四半期累計			通期		
	見直し後 予想	2/14発表 予想	前回予想比	見直し後 予想	2/14発表 予想	前回予想比
売上高	<b>35,200</b>	32,700	+2,500	<b>72,500</b>	68,700	+3,800
WHG事業	<b>21,000</b>	19,000	+2,000	<b>42,800</b>	39,500	+3,300
ラグジュアリー&バンケット事業	<b>8,800</b>	8,800	0	<b>18,100</b>	18,100	0
リゾート事業	<b>4,800</b>	4,400	+400	<b>10,400</b>	10,000	+400
その他(調整額含む)	<b>600</b>	500	+100	<b>1,200</b>	1,100	+100
営業利益	<b>3,700</b>	2,000	+1,700	<b>8,500</b>	6,000	+2,500
WHG事業	<b>3,500</b>	2,000	+1,500	<b>7,100</b>	4,800	+2,300
ラグジュアリー&バンケット事業	<b>300</b>	300	0	<b>800</b>	800	0
リゾート事業	<b>0</b>	▲200	+200	<b>700</b>	500	+200
その他(調整額含む)	<b>▲100</b>	▲100	0	<b>▲100</b>	▲100	0
経常利益	<b>3,900</b>	2,000	+1,900	<b>8,500</b>	5,800	+2,700
当期利益	<b>2,900</b>	1,500	+1,400	<b>7,000</b>	5,300	+1,700

# 2024年12月期 業績予想の前提(営業指標)

		第2四半期累計			通期		
		見直し後	2/14発表	増減	見直し後	2/14発表	増減
WHG全体	稼働率	86%	87%	▲1%pt	87%	89%	▲2%pt
	ADR	15,000円	13,400円	+1,600円	15,000円	13,700円	+1,300円
WHG東京	稼働率	88%	89%	▲1%pt	88%	90%	▲2%pt
	ADR	17,000円	14,900円	+2,100円	17,000円	15,100円	+1,900円
WHG東京以外	稼働率	83%	84%	▲1%pt	86%	87%	▲1%pt
	ADR	12,000円	11,200円	+800円	12,000円	11,800円	+200円
ホテル椿山荘東京	稼働率	60%	64%	▲4%pt	60%	63%	▲3%pt
	ADR	53,100円	46,300円	+6,800円	53,000円	48,500円	+4,500円
箱根小涌園 天悠	稼働率	86%	79%	+7%pt	86%	82%	+4%pt
	ADR	54,200円	49,900円	+4,300円	54,700円	50,800円	+3,900円
箱根ホテル小涌園	稼働率	77%	80%	▲3%pt	80%	83%	▲3%pt
	ADR	32,700円	32,600円	+100円	34,000円	34,900円	▲900円
ホテル椿山荘東京	婚礼施行件数	660件	710件	▲50件	1,500件	1,550件	▲50件
	婚礼件当たり単価	3,993千円	3,852千円	+141千円	3,871千円	3,810千円	+61千円
	婚礼件当たり平均員数	48人	47人	+1人	47人	46人	+1人
箱根小涌園ユネッサン	入場人員	207千人	211千人	▲4千人	560千人	564千人	▲4千人

## 都心の蛍は5月中旬から！夜の庭園に蛍が舞う初夏の風物詩 ホテル椿山荘東京「ほたるの夕べ」が今年で70周年を迎えます



庭園の夜を彩る「ほたるの夕べ」は、藤田観光の創業者である小川栄一の「東京の子どもたちに蛍を見せたい」「上京した若者に、蛍舞う原風景に故郷を感じて欲しい」との思いから、1954年に始まりました。

一般的に夏のイメージがある蛍ですが、当ホテルでは5月中旬に飛翔を開始し、6月上旬にかけて見頃を迎えます。

70周年を迎える今年も、「東京雲海」と蛍の共演による幻想的な風景をお楽しみください。



「ほたるの夕べ ディナービュッフェ」では、サーロインローストビーフなどの人気メニューから米茄子の鴨炊きといったホテル伝統の味まで、贅沢な美味が勢揃い！



「<ほたるの夕べ70周年記念>ほたる満喫ステイ」や「ファミリー満喫ステイ」など、様々な楽しみ方ができるステイプランが登場！



5～6月は庭園の木々がみずみずしい新緑から生命力あふれる深緑へと変わる時期。季節の移ろいをぜひご堪能ください。

# 営業指標推移

		2023年				2024年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
WHG全体	稼働率	84%	88%	88%	90%	86%
	ADR	10,821円	13,083円	13,487円	14,473円	14,849円
WHG東京	稼働率	89%	91%	90%	92%	90%
	ADR	11,567円	14,428円	14,612円	16,096円	16,920円
WHG東京以外	稼働率	78%	83%	85%	87%	82%
	ADR	9,853円	11,123円	11,909円	12,213円	11,847円
ホテル椿山荘東京	稼働率	65%	72%	58%	70%	53%
	ADR	42,660円	45,527円	50,335円	52,535円	55,437円
箱根小涌園 天悠	稼働率	83%	79%	85%	91%	89%
	ADR	48,575円	50,630円	53,090円	55,456円	54,102円
箱根ホテル小涌園	稼働率	2023年7月12日開業		88%	77%	73%
	ADR	2023年7月12日開業		36,221円	32,918円	32,791円
ホテル椿山荘東京	婚礼施行件数	271件	436件	289件	566件	282件
	婚礼件当たり単価	3,675千円	3,948千円	3,679千円	3,706千円	4,044千円
	婚礼件当たり平均員数	44人	49人	45人	45人	49人
箱根小涌園ユネッサン	入場人員	75千人	70千人	208千人	94千人	107千人

# 施設一覧(2024年5月9日現在)

WHG事業				リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
<b>《宿泊》 36拠点 11,041室</b>				<b>《宿泊》11拠点 553室</b>		<b>《宿泊》 1拠点 266室</b>	
<b>■ワシントンホテル</b> (21拠点 6,619室)		<b>■ホテルグレイスリー</b> (10拠点 3,198室)		箱根小涌園 天悠	150室	ホテル椿山荘東京 266室	
仙台	223室	札幌	440室	箱根ホテル小涌園	150室	<b>《婚礼》 3拠点</b>	
新宿(本館)	1,280室	銀座	270室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	Share Clapping(広島県)	
新宿(ANNEX)	337室	田町	216室	箱根小涌園 美山楓林	15室	ルメルシェ元宇品(広島県)	
秋葉原	369室	浅草	125室	伊東小涌園	50室	ザ サウスハーバーリゾート(広島県)	
東京ベイ有明	830室	新宿	970室	伊東 緑涌	7室	<b>《レジャー》 1拠点</b>	
横浜桜木町	553室	京都三条(北館・南館)	225室	藤乃煌 富士御殿場	24室	カメラアヒルズカントリークラブ(千葉県)	
浦和	140室	大阪なんば	170室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	<b>《レストラン》 2拠点</b>	
広島	266室	那覇	198室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
キャナルシティ・福岡	423室	ソウル	336室	ホテルやまなみ【MC】(山梨県)	26室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形七日町【FC】	213室	台北	248室	十和田ホテル【業務提携】	50室		
山形駅西口【FC】	100室			<b>《レストラン》 3拠点</b>			
会津若松【FC】	154室	■ホテルフジタ(1拠点 354室)		レストランあかしあ亭(秋田県)			
郡山【FC】	184室	福井【FC】	354室	箱根小涌園 蕎麦 貴賓館			
いわき【FC】	148室			箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館			
立川【FC】	170室	■ホテルタビノス(3拠点 656室)		<b>《レジャー》 5拠点</b>			
木更津【FC】	146室	浜松町	188室	箱根小涌園 ユネッサン			
燕三条【FC】	103室	浅草	278室	箱根小涌園 元湯 森の湯			
関西エアポート【FC】	504室	京都	190室	箱根小涌園キャンプ&スパ 山の音			
関空泉大津【FC】	151室			Fuji Camp Base煌(藤乃煌 富士御殿場 敷地内)			
宝塚【FC】	135室	■サービス・アパートメント(1拠点214室)		下田海中水族館			
佐世保【FC】	190室	ISORAS CIKARANG	214室				
		イソラス チカラン(インドネシア)					

FC:フランチャイズ方式  
所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、当社はブランド使用権の貸与と運営を指導

MC:マネジメントコントラクト方式  
所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営を受託

上場取引所	東京証券取引所プライム市場	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式 100株	
	A種優先株式 1株	
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日(普通株式)	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計 12,207,524株
	A種優先株式 100株	
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計 44,000,150株
	A種優先株式 150株	
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部

TEL : 03-5981-7722

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2024年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。